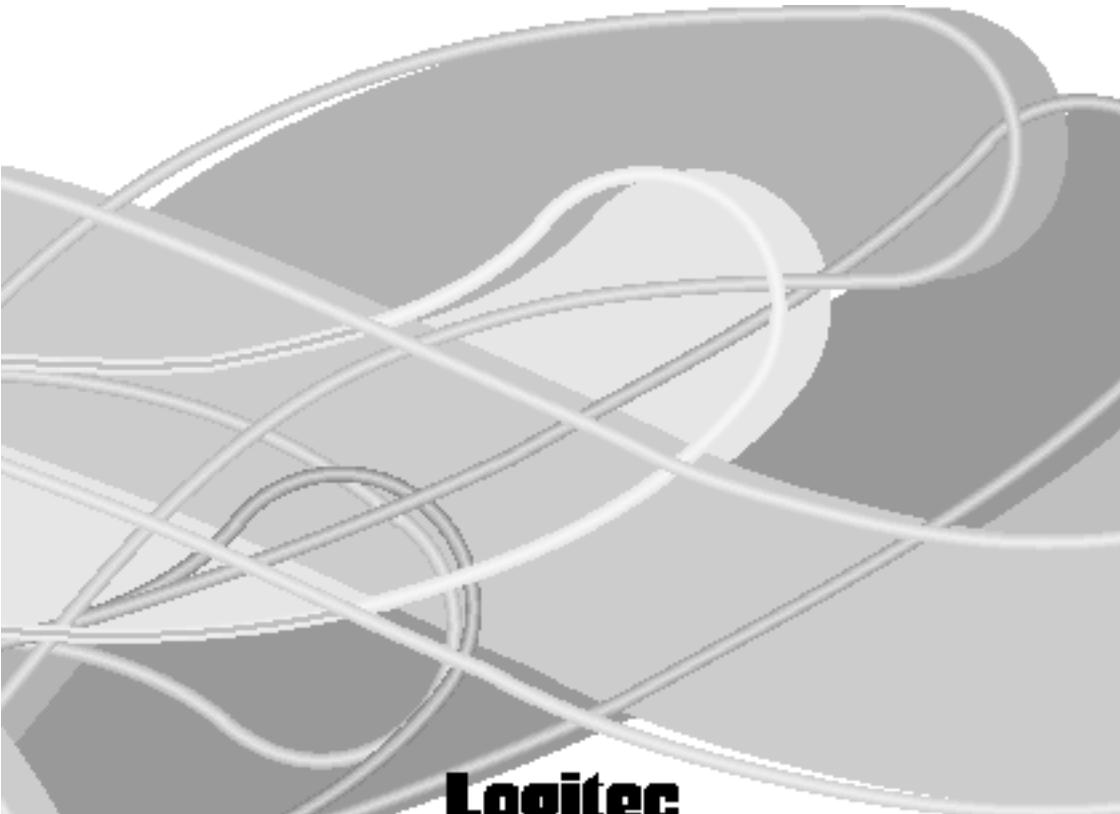


LMO-FU2 V04B

USB 2.0 MO UNIT

MOユニット ユーザーズマニュアル

LMO-F654U2 LMO-F1354U2
LMO-F654U2 (S) LMO-F1354U2 (S)



Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
第1章 製品のご紹介	7
1.1 製品の特徴	7
1.2 各部の名称と機能	10
1.3 設置方向について	12
1.4 接続の前に	13
第2章 Windows Me, 98 の場合	14
2.1 接続とインストール (Windows 98)	14
2.2 接続とインストール (Windows Me)	17
2.3 フォーマットについて	19
2.4 メディアのセットと取り出し	21
2.5 本製品を取り外す場合は	22
第3章 Windows XP, 2000 の場合	23
3.1 接続とインストール	23
3.2 フォーマットについて	25
3.3 メディアのセットと取り出し	26
3.4 本製品を取り外す場合は	27
第4章 Macintosh の場合	29
4.1 接続とインストール	29
4.2 MOメディアのフォーマット手順	33
4.3 メディアのセットと取り出し	36
4.4 本製品を取り外す場合は	37
第5章 補足事項	38
5.1 トラブルシューティング	38
5.2 メディアIDについて	41
5.3 保守とその他	42
ハードウェア仕様	44

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

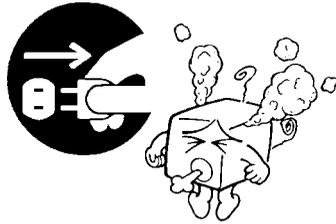


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

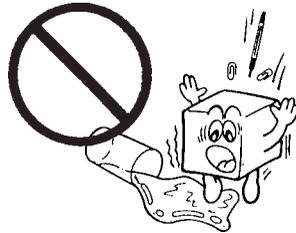
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

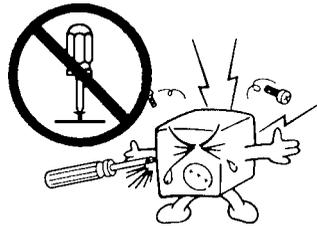
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

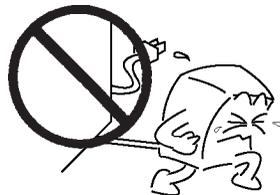
使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



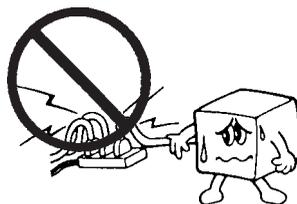
ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

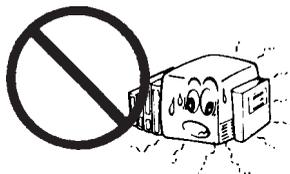
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



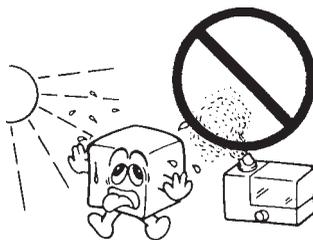
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



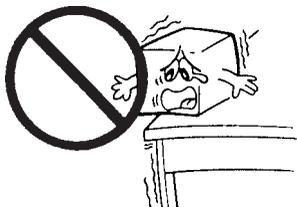
通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

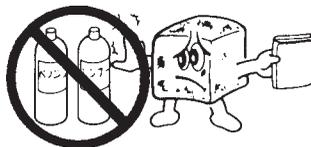


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。





ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

付属品の確認

MO ユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
USB ケーブル (シリーズ A Mini-B)	1 本
縦置き用スタンド	1 個
横置き用ゴム足	1 シート
「LogitecWare」CD-ROM	1 枚
MO ユニット・ユーザーズマニュアル	本書
イジェクトツール	1 個
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の特徴

本製品はUSB 2.0 / 1.1 対応の外付け型 MO ユニットです。

本製品の特徴

480Mbps の高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応し、従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能ですので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

インターフェースとしてUSBを採用していますので、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONになっている状態での着脱)が可能です。必要になったときだけパソコンに接続することもできます。

美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、さらに安定したパフォーマンスが実現されています。

コンパクトなボディは設置に場所を取りません。



重要なお注意

- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属のACアダプタを接続してください。
- ・本製品をUSB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルでUSB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべくUSB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- ・スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっております。

使用環境について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のよう
な環境条件を満たしていなくてはなりません。

対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパ
ソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限
定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン本
体のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	iMac
	eMac
	iBook
	Power Mac G5
	Power Mac G4
	Power Macintosh G3 (Blue & White)
	PowerBook

対応 OS について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の
OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パ
ソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社
Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2
Mac OS X 10.0.4 以降

機種と使用可能なメディアについて

本製品には以下のような機種がラインアップされています。それぞれの機種では、下表で または のついたMOメディアを使用することができます。

標準 = 標準タイプ OW = オーバーライトタイプ

		LMO - F1354U2(S)	LMO- F654U2(S)	LMO - F1354U2	LMO- F654U2
128MB	標準				
	OW				
230MB	標準				
	OW				
540MB	標準				
	OW				
640MB	標準				
	OW				
1.3GB	標準		×		×
	OW				
2.3GB	標準	×	×	×	×
	OW				

= 使用可能 × = 使用不可

= 使用可能ですが、書き込み速度は、通常のMOメディアと同等になります。

- = このタイプは現在発売されていません。

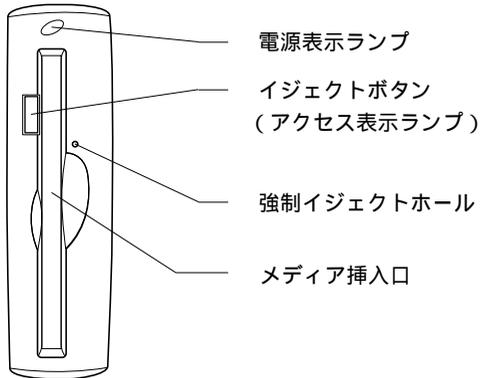


ご注意

- ・他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないでください。(この用途は保証範囲外とさせていただきます。)これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB以上のMOメディアをご使用ください。

1 . 2 各部の名称と機能

本製品前面



電源表示ランプ

本製品の電源が ON になると点灯します。

イジェクトボタン (アクセス表示ランプ)

パソコン本体の OS が起動していないときに、MO メディアを取り出したい場合に使用します。また、このボタンにはアクセス表示ランプの機能もあり、本製品にセットされた MO メディアにアクセスが行われると内部のランプが点滅します。

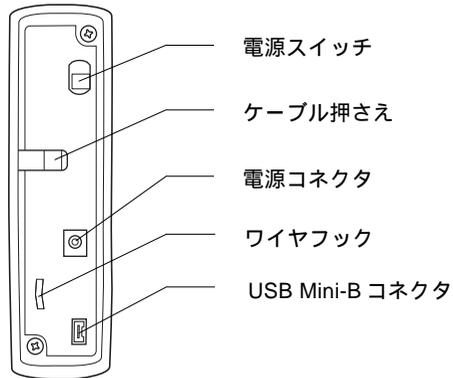
強制イジェクトホール

何かの原因で MO メディアが取り出せなくなったときに使用します。詳細については第 5 章の「5 . 1 トラブルシューティング」をご参照ください。

メディア挿入口

MO メディアをセットする部分です。

本製品背面

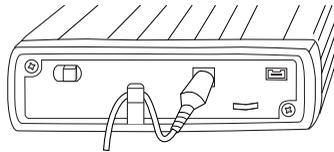


電源スイッチ

本製品の電源を ON / OFF します。

ケーブル押さえ

AC アダプタのプラグが外れないようにケーブルを引っ掛けておく部分です。(下図参照)



電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

ワイヤフック

盗難防止用に 2 程度のワイヤを取り付けることができます。

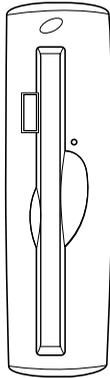
USB Mini-B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

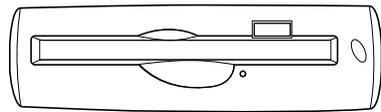
1 . 3 設置方向について

1

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

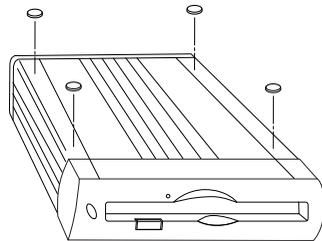
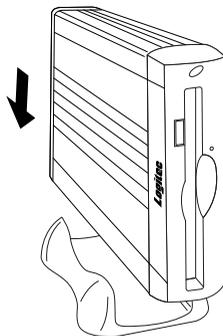


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。(下左図)
横置きの場合は、底面の4箇所が付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



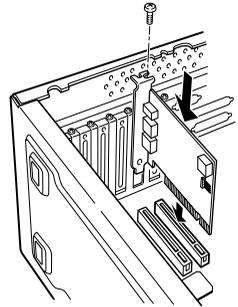
上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

1.4 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0 インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB 2.0インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にUSB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来のUSB 1.1と同様 Full-Speed（12Mbps）になります。）



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCIバス用USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows Mac OS X 10.2.8 以降対応
LHA-USB2M	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2 以降対応

CardBus対応USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2H	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応
LPM-CBUSB2HA	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

第2章

Windows® Me, 98 の場合

2.1 接続とインストール (Windows 98)

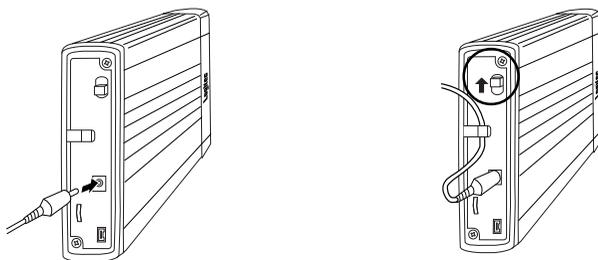
ここでは、Windows 98 環境での本製品の接続とドライバのインストールの手順をご説明いたします。接続先のパソコンに USB 2.0 ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。

USB 1.1 ポートへ接続した場合の転送速度は、Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

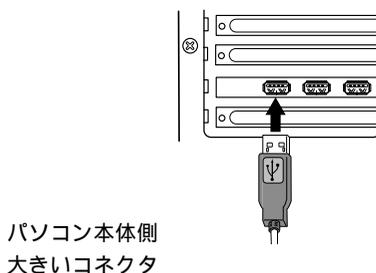
パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

システム起動が完了したら、本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル押さえの下にくらせておいてください。ます。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

AC アダプタの接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB ミニ B コネクタと、パソコン側の USB ポートを接続してください。



本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で



2. 「次へ」をクリック

右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに、以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥LMOFU2¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

ご注意

上の画面でハードウェアデバイス名が「USB Magneto-Optical Disk Drive (MO Drive)」と表示される場合もありますが、問題はありませんのでそのまま「次へ」をクリックしてください。

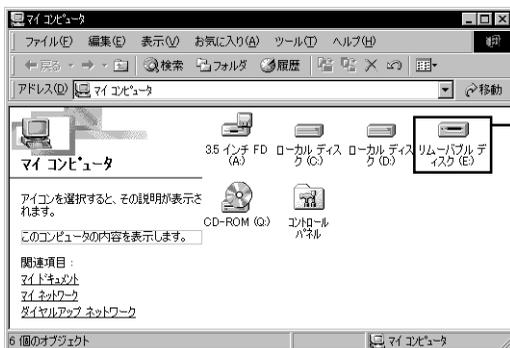
必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

以上で作業は終了です。最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。

下のように新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが登録されていたら、ドライバのインストール、および本製品の接続は正常に完了しています。



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる
可能性があります。

本製品にフォーマットされたMOメディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットしたMOメディアにアクセスすることができます。

MOメディアのフォーマットについては、2.3節をご参照ください。

2.2 接続とインストール (Windows Me)

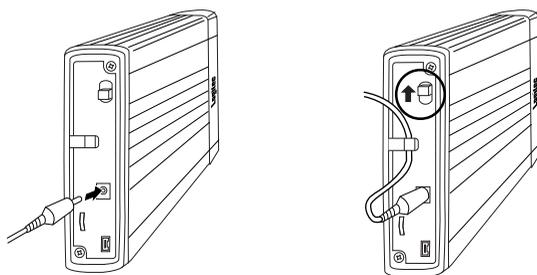
Windows Meには本製品のドライバが標準添付されています。そのため、以下の手順で本製品を接続すると、すぐに使用可能な状態になります。

接続先のパソコンにUSB 2.0ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンにUSB 2.0ポートがない場合には、接続先をUSB 1.1ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。(USB 1.1ポートへ接続した場合の転送速度は、Full-Speed (12Mbps)までの対応となります。)

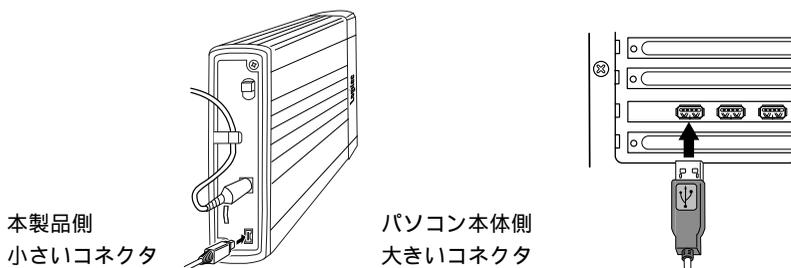
パソコン本体の電源をONにして、Windowsのシステムを起動してください。

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル押さえの下にくぐらせておいてください。まず、ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。

ACアダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチをONにします。



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBミニBコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。



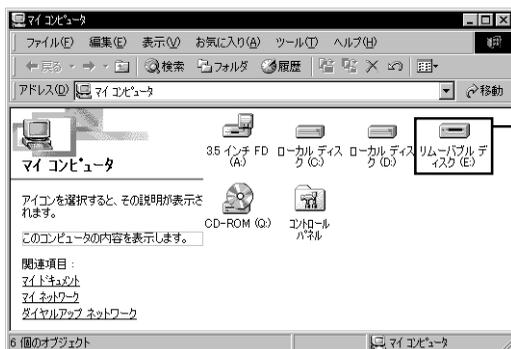
本製品側
小さいコネクタ

パソコン本体側
大きいコネクタ

本製品がプラグ & プレイで認識され、ドライバの組み込みがすべて自動的に行われます。(ここではユーザーが操作を行う必要はありません。)

作業が完了したら、最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。

下のように新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが登録されていたら、ドライバのインストール、および本製品の接続は正常に完了しています。



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる
可能性があります。

本製品にフォーマットされたMOメディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットしたMOメディアにアクセスすることができます。

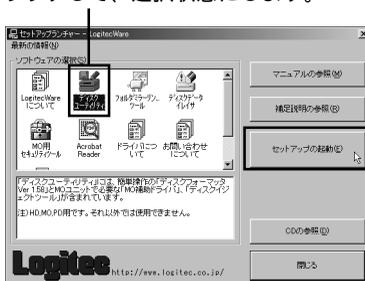
MOメディアのフォーマットについては、次節をご参照ください。

2.3 フォーマットについて

Windows Me, 98の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point

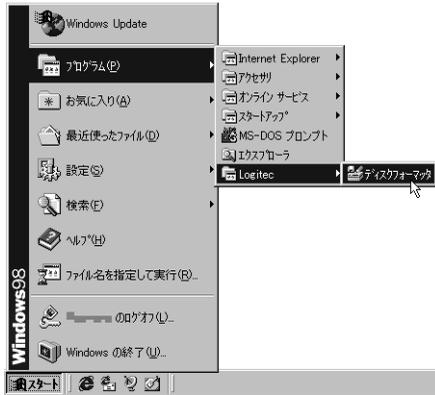
ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクプロジェクトツール」と「MO補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずインストールしてください。



2.3 フォーマットについて

インストールが終了したら、ディスクフォーマットはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマット」をクリックすることで起動できます。



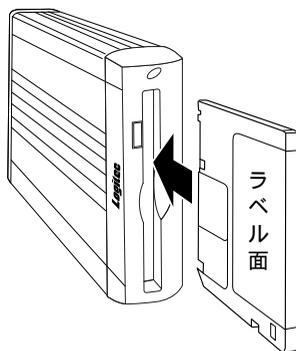
また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマットが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマットのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。

2.4 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



2



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Windows Me, 98上でMOメディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右図のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。



このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

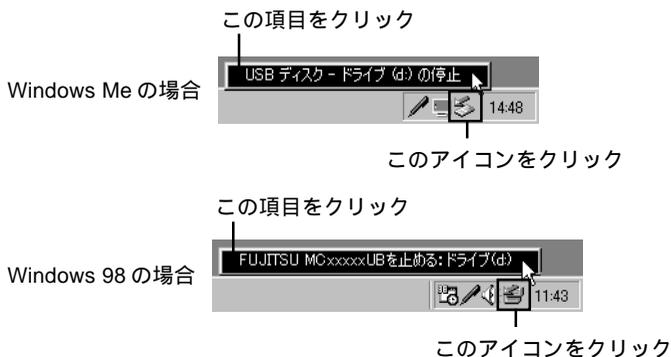
本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。

2 . 5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」、もしくは「FUJITSU MCxxxxxUB を止める : ドライブ (d:)」を選択してください。



Point

ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。また、「xxxxx」には本製品内蔵ドライブの型番が入ります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

第3章 Windows® XP , 2000 の場合

3.1 接続とインストール

ここでは、Windows XP , 2000 環境での本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。接続先のパソコンにUSB 2.0ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンにUSB 2.0ポートがない場合には、接続先をUSB 1.1ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。

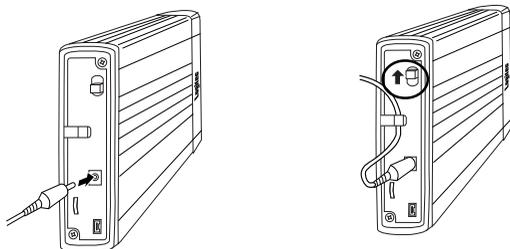
USB 1.1ポートへ接続した場合の転送速度は、Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

Point

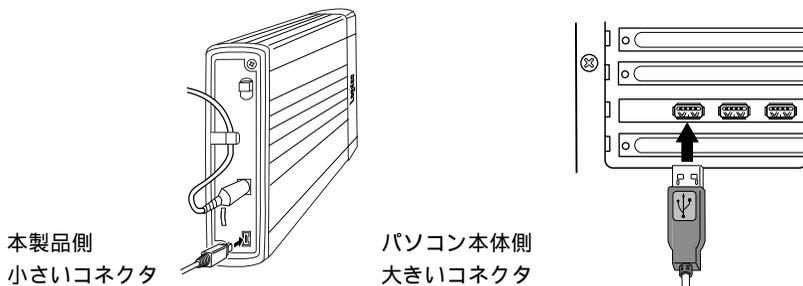
パソコン本体の電源をONにして、システムを起動し、管理者権限を持つグループ (例えば Administrators グループ) のメンバーとしてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル押さえの下にくぐらせておいてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。

ACアダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチをONにします。



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBミニBコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。



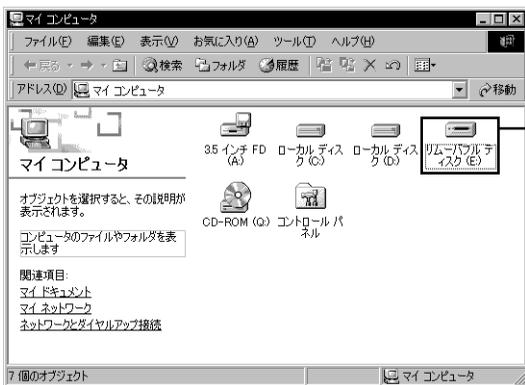
3.1 接続とインストール

本製品がプラグ & プレイで認識され、ドライバの組み込みがすべて自動的に行われます。(ここではユーザーが操作を行う必要はありません。)

作業が完了したら、最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。

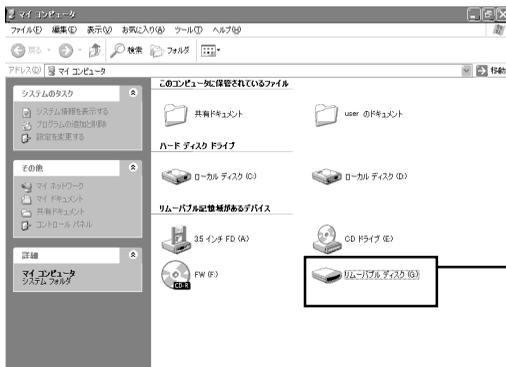
下のように新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが登録されていたら、ドライバのインストール、および本製品の接続は正常に完了しています。

Windows 2000



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる
可能性があります。

Windows XP



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる
可能性があります。

本製品にフォーマットされたMOメディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットしたMOメディアにアクセスすることができます。MOメディアのフォーマットについては、次節をご参照ください。

3.2 フォーマットについて

Windows XP, 2000の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「MOメディアフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



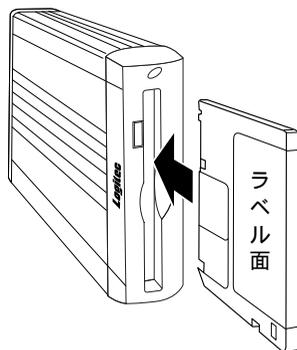
2. 「セットアップの起動」をクリックします。

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitec」とポイントし、「MOメディアフォーマッタ」をクリックすると起動できます。



3.3 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



3

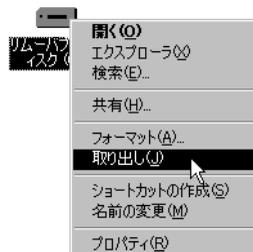


ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

WindowsXP、2000上でMOメディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン(リムーバブルディスク)を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

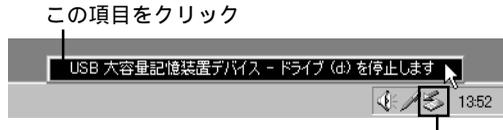
- ・本製品前面のイジェクトボタンはシステムが起動していないときに使用します。Windows XP、2000稼動中は使用しないでください。
- ・Windows XP、2000でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つグループ(例えばAdministratorsグループ)のメンバーとしてログオンする必要があります。

3.4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

Windows 2000では本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を停止します」を選択してください。



このアイコンをクリック

Windows XPの場合は「「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を安全に取り外します」と表示されます。



このアイコンをクリック

Point

ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

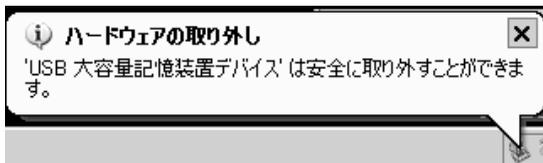
3.4 本製品を取り外す場合は

Windows 2000 では「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



OK ボタンをクリック

Windows XP では「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます」とメッセージが表示されるので、フキダシの中をクリックしてください。



USB ケーブルを外し、AC アダプタを取り外してください。

第4章

Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

ここでは本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。ドライバのインストールは必ず本製品を接続していない状態で行ってください。



ご注意

ご使用のOSがMac OS X 10.0.4以降の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているため、手順 ~ までのドライバのインストール作業は必要ありません。手順 へとお進みください。

本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

CD-ROMのウィンドウが開きますので、「Drivers」と書かれたフォルダをダブルクリックして開いてください。

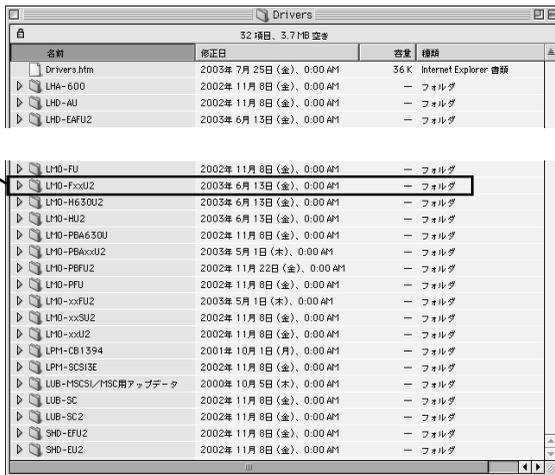


このフォルダを
ダブルクリック

4.1 接続とインストール

下のようにドライブフォルダの一覧が表示されます。一覧の中から「LMO-FxxU2」と書かれているフォルダをダブルクリックしてください。

「LMO-FxxU2」フォルダをダブルクリック



4

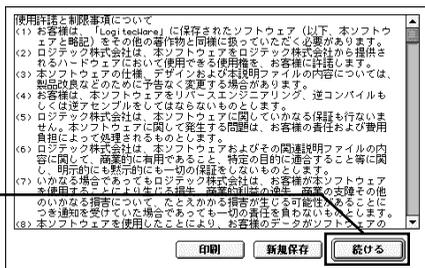
右のような画面が表示されるので、「ディスクドライバインストーラ」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

この部分をダブルクリック



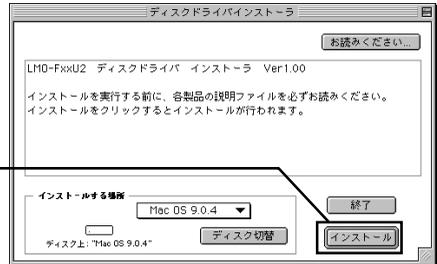
インストーラが起動して、使用許諾等が表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「続ける」をクリック



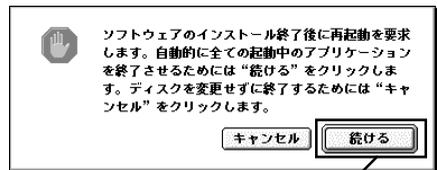
ドライバをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障ない場合は、そのまま「インストール」をクリック



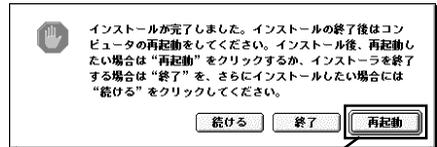
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。

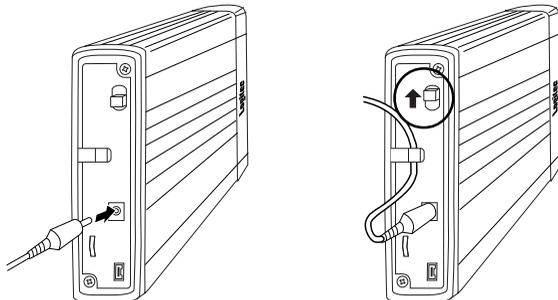
「再起動」をクリック



システムが再起動されます。再起動が完了したら、インストール作業は終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル押さえの下にくぐらせておいてください。また、AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

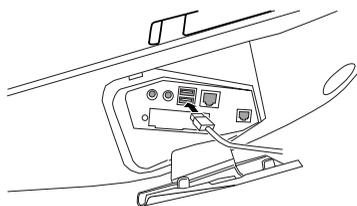
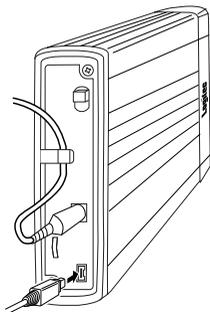


Point

ポイント

以下の接続は、本製品、パソコン本体の電源がONになっている状態で行います。

本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBミニBコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さいコネクタ

パソコン本体側
大きいコネクタ

4

参考

参考

Mac OS X 10.0.4以降をご使用の場合、接続後に本製品が自動的に認識され使用できるようになります。

これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされたMOメディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。
(MOメディアのフォーマットについては、4.2節をご参照ください。)

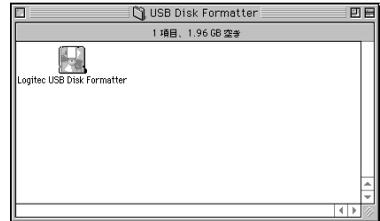
4.2 MOメディアのフォーマット手順



ご注意

Mac OS X では、ここで説明するフォーマッタソフト「Logitec USB Disk Formatter」は動作しません。OS 標準の「Disk Utility」をご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitec USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。ここで本製品にフォーマットしたいMOメディアをセットしてください。



セットされたMOメディアに関する情報が表示されます。

フォーマットされていないMOメディアをセットした場合は、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。



参考

「マウント」ボタンは、何かの原因でマウントされなかったMOメディアを強制的にマウントするものですが、フォーマット時には使用しません。



参考

「取り出し」ボタンは、本製品にセットされたMOメディアを取り出すためのものではありません。間違ったMOメディアをセットした場合などに使用してください。

右のウィンドウが表示されます。
必要に応じて設定等を行ってください。

MOメディアに名前をつけたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(下の「ポイント」参照)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。



ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

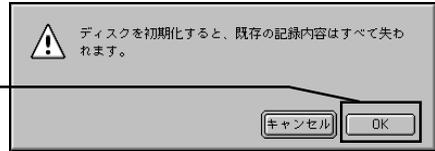
従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、OKボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。



確認が終了したら、「取り出し」ボタンをクリックして、MOメディアを取り出してください。

以上でMOメディアのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。

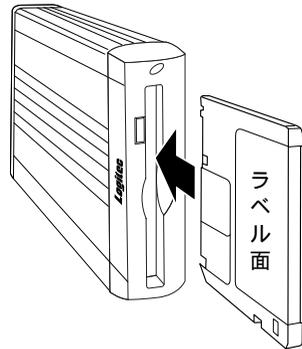


参考

一度上記の手順でフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

4 . 3 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Mac OS上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OSが起動していないときに使用します。Mac OS移動中は使用しないでください。

4 . 4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
本製品をUSBハブ経由で接続している場合は、パソコンのUSB
ポートに直接接続して試してみてください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを
行ってください。
MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してくださ
い。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデー
タをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメ
ディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォー
マットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォー
マット（論理フォーマット）を行ってください。
MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的
ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社の
Macintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。
異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピー
フォーマットのMOメディアを使用してください。（Macintoshシ
リーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用す
るには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）
そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認
してください。使用可能なMOメディアについては、「1.1 製
品の特徴」の「使用可能なMOメディア」をご参照ください。

MOメディアに書き込みができない。

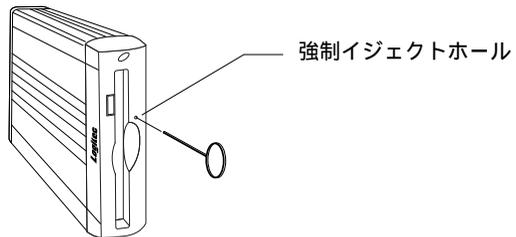
MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

MOメディアがイジェクトできない。

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はイジェクトできませんので、アクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。

上記の項目に当てはまらない場合、一度本製品の再接続、および電源の再投入を行って試してください。それでもだめな場合は、本製品の電源をOFFにして、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに挿し込み、強く押してください。



ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

データの転送速度が遅い。

USB 2.0のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-Speed(12Mbps)までとなります。High-Speed(480Mbps)でデータ転送を行うにはUSB 2.0ポートにつながかえてください。

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0インターフェイスボード(PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB 2.0インターフェイスカード)を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で MOメディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

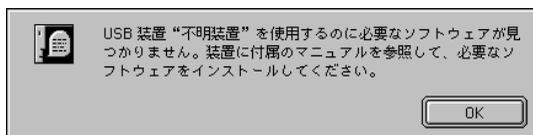
一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、 以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

Macintosh 環境で本製品のドライバをアンインストール したい。(Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-102C Driver

Logitech USB-102C Shim

または、

Logitech USB-104E Driver

Logitech USB 104E Shim

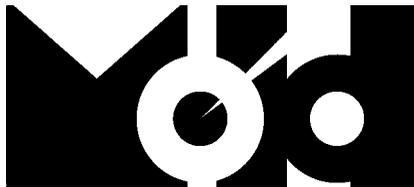
その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

5.2 メディアIDについて

本製品は「メディアID」機能に対応しています。以下のロゴマークはメディアID機能対応を示すものです。



メディアIDとは、メディアID対応のMOメディアに著作権保護の目的で記録された変更不可能な固有の番号です。今後ブロードバンドコンテンツ配信サービスなどで、メディアIDを前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、このようなコンテンツを保存/再生するには、メディアIDに対応したMOメディアおよびMOドライブが必要です。詳細についてはインターネット上の弊社Webサイトをご参照ください。

本製品のメディアID機能を使用するためにはドライバが必要となります。メディアID対応ドライバは、付属のCD-ROM「LogitechWare」内に収録されています。また、最新バージョンについては、弊社Webサイトにて公開中です。

5 . 3 保守とその他

メディアのクリーニングについて

MOメディアは別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングすることができます。使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なりますが、定期的なクリーニングを推奨いたします。クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番 : LMO-330-02

レンズ・ヘッドのクリーニングについて

空气中に浮遊するほこり、ちり、およびタバコの煙などが、本製品内部のレンズ・ヘッドに付着すると性能が低下することがあります。

本製品内部のレンズ・ヘッドは別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングすることができます。使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なりますが、定期的なクリーニングを推奨いたします。クリーニングの方法については、クリーニングキットの使用方法をご参照ください。

本製品用のレンズ・ヘッドクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番 : LMO-640-02



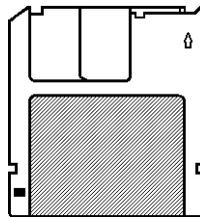
ご注意

- ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットを使用する場合は、ACアダプタを接続し電源を供給する必要があります。
 - ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットは必ず弊社販売の「LMO-640-02」をご使用ください。市販のものを無理に使用すると、機器を損傷する場合があります。
-

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



裏面に回る部分をはがれやすいのでしっかりと押さえます。

斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

ハードウェア仕様

機種名	LMO - F654U2 LMO - F654U2 (S)	LMO - F1354U2 LMO - F1354U2 (S)	
メディアタイプ	3.5型 MOメディア *1		
ディスクあたりの記憶容量	128MB / 230MB 540MB / 640MB	128MB / 230MB 540MB / 640MB / 1.3GB	
ディスク回転数	5455rpm	5455rpm *2 3637 rpm	
インターフェース	USB 2.0 / 1.1		
コネクタ形状	USB Mini - B		
最大データ転送速度*3	480Mbps (High - Speed対応時) 12Mbps (Full - Speed 対応時)		
平均シークタイム	23ms		
キャッシュメモリ	2MB		
環境条件*4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	0 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧	AC100V ± 10 % 50 / 60 Hz *5		
消費電力 (定格)	7W *6		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き	34 × 118 × 160 mm *7		
質量	840 g *8		

*1 対応メディアについては本書の 1 . 1 節参照。

*2 1.3GBMO メディア使用時は 3637rpm

*3 理論値。

*4 ただし結露なきこと。

*5 ACアダプタ。

*6 ACアダプタを含む。

*7 縦置き時、突起部 / スタンド除く

*8 本体のみ。

Memo

Memo

Memo

Memo

保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

東日本地域にお住まいの方：

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック(株)伊那サービスセンター(3番受入窓口)

西日本地域にお住まいの方：

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-4-10 四ツ橋パークビル 3F

ロジテック(株)大阪サービスセンター

弊社製モニター、パソコン本体、HDビデオレコーダー製品に限り「大阪サービスセンター」では受け付けておりません。ご注意ください。

保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

サービスを依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア(なるべく詳しく)

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お手紙によりお問い合わせする場合は、上記 ~ の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意：電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号/FAX番号をご記入ください。

お問い合わせ先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3667(東京)

祝祭日を除く月～金曜日 9:30～12:00、13:00～17:00

間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitec MO ユニット・ユーザーズマニュアル

2004年 2月改訂 LMO-FU2 V04B

製造元：ロジテック株式会社

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形 1 - 1 2 - 1 4 日本生命浅草ビル

LMO-FU2 V04B

